

漁業生産現場への企業誘致（案）

目的

○本県沿岸において定置網漁業で効率的な生産が見込める未利用海域の特性等を調査し、企業に情報提供を行うことにより、新規参入を促進する。

現状と課題

【本県定置網漁業の現状と課題】

- ・H15年と比較して4件（経営体）の減少
- ・従業員の確保難や水揚げ減による廃業
- ・操業再開には多額の初期投資が必要
- ・廃業からの年数経過による、漁場特性の変化や伝承技術・情報の消失

	H15	H20	H25	H30
経営体数	28	29	30	24
免許件数	38	41	40	34
生産量(トン)	13,425	16,038	15,604	9,700(H29)

※経営体数、免許件数は1/1現在。生産量は各年1/1～12/31

【新規参入の動き】

- ・廃業となった漁場の一部では、県の支援事業を活用して操業が再開（H25足摺、H29伊田）
 - ・H24年に廃業し、現在は未利用の貝の川でも新規参入の動き
- ※廃業が進む中でも、一部の漁場では承継や新規参入が見られる

未利用漁場の再活用を促進し、漁業生産量の拡大を図る必要

目指す方向性・課題

【目指す方向性】

- 優良漁場の発掘と企業誘致
- ・現在未利用となっている漁場の有望性を調査
- ・定置網漁業のノウハウを有する製網会社等を通じて資本力を持つ企業を誘致

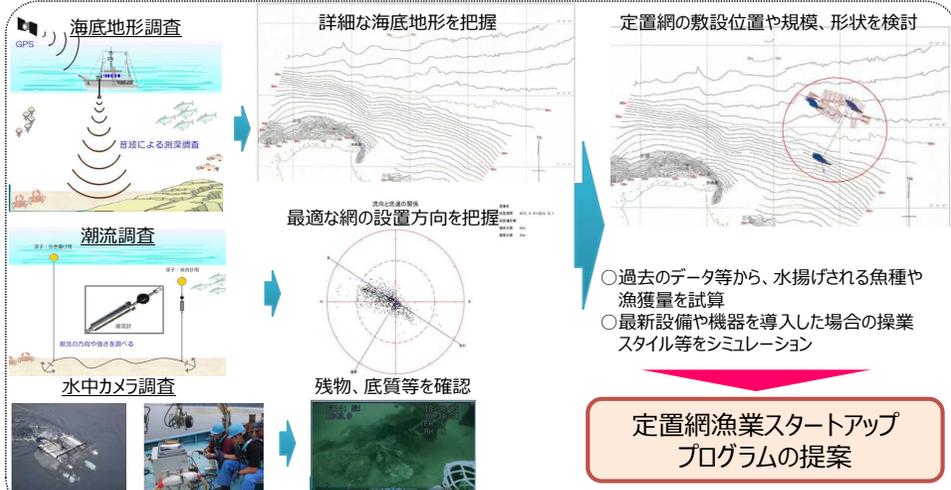
【課題】

- 企業参入に向けた地元調整
- ・企業受入による地域振興への理解促進
- ・労働力の確保
- ・陸揚げ機能（岸壁、付帯設備等）の確保
- 企業誘致活動の展開

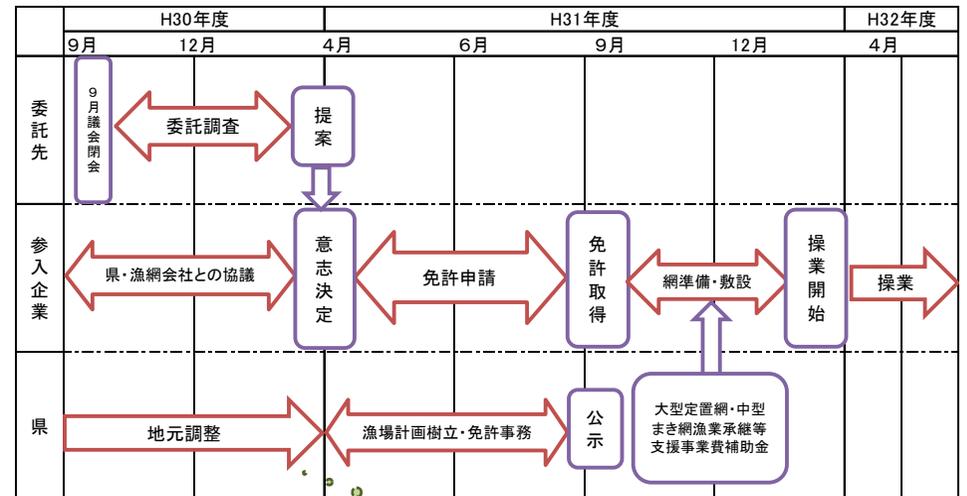


補正予算計上事業

定置漁業調査等委託事業



今後のスケジュール



魅力ある漁場の発掘が急務